

令和 6 年度 高齢者あんしんセンター事業計画

I. 運営全体
1) 複雑化・複合化した課題を有するケースに対する、包括的な相談支援体制のさらなる強化及び充実 2) 高齢者あんしんセンター職員の総合調整力や指導力等の技術向上のための研修の開催 3) 八尾市が定める運営方針の内容に沿った事業計画の作成、またセンターの実情に応じた重点的に行う業務の設定および実行 4) 災害時等、不測の事態にも備えた、一貫性・連続性のある情報管理体制の整備 5) 職員一人ひとりにおける公益的な機関としての認識及び公正な運営の確保 6) 個人情報保護管理の徹底
II. 介護予防支援業務
1) 生活習慣病予防やフレイル予防に関する取り組みの充実による、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進 2) 総合事業における「生活の継続性」を重視した、自立支援型介護予防ケアマネジメントの強化 3) ICTや動画配信などデジタル技術等を活用した介護予防の取り組みの推進 4) 地域団体等との連携を強化し、身近な地域で介護予防の取り組みをしやすい環境の整備
III. 総合相談支援業務
1) 地域行事やイベント、SNS 等を活用した、全ての世代に対する高齢者あんしんセンターの周知・啓発 2) 高齢者虐待を起こさせない、包括的な相談支援体制の強化・充実 3) 認知症の本人や家族の意見を重視し、「共生」と「予防」の観点を踏まえた取り組みの推進 4) 高齢者だけではなく、世帯に対応する支援体制の強化
IV. 権利擁護業務
1) 高齢者虐待を未然に防ぐための地域への積極的な啓発及び「高齢者虐待ゼロ」を目指した介護保険事業者等への研修の実施 2) 「高齢者虐待防止アドバイザー会議」や、大阪弁護士会による「地域包括支援センター法律支援事業」の積極的な活用 3) 認知症に関する、若年層を含めた地域への啓発（認知症キッズサポーターの養成、認知症ケアパスの普及） 4) 権利擁護支援に係る中核機関「権利擁護センター（ほっとネット）」との連携による、成年後見制度等の活用促進に向けた相談支援体制の強化及び地域連携ネットワークの拡充

V. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- 1) 介護保険事業者連絡協議会居宅部会との連携による、研修会や事例検討会、意見交換の場等の開催及び充実
- 2) 介護支援専門員が参加しやすい「自立支援型地域ケア会議」の体制整備および多職種との連携による適切なケアプランの検討
- 3) 介護支援専門員が対応している、困難事例等に対する助言・指導及び後方支援
- 4) 介護支援専門員からの相談件数の経年把握、また相談内容の整理や分析

VI. 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

- 1) 「在宅医療・介護連携相談窓口」との連携による、切れ目のない支援体制の充実
- 2) 認知症地域支援推進員や認知症初期集中支援チームとの連携強化
- 3) 医療関係者との事例検討会、勉強会等への参加
- 4) 地域ケア会議などを通じた、保健・福祉・医療及び地域の関係者への働きかけによるネットワークの強化及び相互のつながりの構築

VII. 地域ケア会議の実施

- 1) 多職種と連携した、地域ケア会議随時会議の積極的開催
- 2) 多職種連携のもと、自立支援・重度化防止の観点からの個別事例の検討
- 3) 「自立支援型地域ケア会議」におけるケアプランの検討による、ケアマネジメントの向上
- 4) 個別課題を踏まえ、デジタル技術を活用した介護予防、見守り、生活支援等の取組の検討・創出